

準用河川 滝川の概要

滝川は、横浜市戸塚区原宿に源を発し、一部鎌倉市域を流れ、藤沢市大鋸（藤沢橋下流付近）で二級河川境川に合流しています。藤沢市では昭和48年に本河川を準用河川に指定し、1時間当たり50ミリメートルの降雨量に対して安全となるよう整備を行うことにしています。

本河川には、横浜市域にある浄水場の余剰水が流入し、流域内では第一及び、大鋸の土地区画整理事業や現在施工中の柄沢特定土地区画整理事業により市街化が進展しており、流域内の土地利用形態が大きく変化し、近年、柄沢橋及び下流域で浸水被害が度々発生していたため、藤沢市では、国庫補助事業として平成17年度より滝川分水路の築造工事を行い、平成21年度に予定区間が完成しています。

- ・準用河川指定延長：1.93km
- ・流路延長：5.33km
- ・流域面積：3.98km²

【滝川分水路完成前】



浸水状況①柄沢橋交差点(平成15年の台風時) 浸水状況②瑞光橋(平成15年の台風時)

【滝川分水路完成後】



柄沢橋交差点付近(平成22年の台風時)

瑞光橋下流付近(平成22年の台風時)